

事務事業名	41800	いいおかユートピアセンター管理費	予算科目	会計 一般	款 10	項 4	目 10	担当班	社会教育施設班
施策体系	基本施策 12	生涯学習の充実	根拠法令	いいおかユートピアセンターの設置及び管理に関する条例・同条例施行規則					
	施策の展開 24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125 各施設の整備充実					
	施策の展開		戦略事業						
								事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 2 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	各種講座・教室・主催事業の開催、一般・定期利用団体の使用申請の受付や許可、図書の貸出しや管理、旧町史や文化振興事業の入場券の販売、施設の維持管理など。 【開館時間】9時～17時。但し、夜間利用がある場合は21時まで開館。【閉館日】月曜、祝日、年末年始 【館内施設】会議室 2、研修室 1、和室 1、栄養指導室 1、大ホール(1,000人収用) 1、図書室 1、陶芸室 1
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・市民が、生きがいを見つけ、充実した生活が送れるようになるため、平成元年に施設を設置し、翌2年度から事業を開始。	・講座からサークルに移行して自立する団体が出来てきた。 ・民間でも同様な教室(カルチャーセンター)があつて新鮮味が薄れてきている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・施設利用者からは「講座がマンネリ化している。新しいものを取り入れてほしい。」との意見・要望がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	
1.委託料	5,190:夜間受付、日常清掃、浄化槽点検、警備保障、等
2.光熱水費	2,987:光熱水費
3.臨時雇賃金	2,109:2名7,100円×14日×12月・通勤手当
4.その他	4,538:賃借料、修繕工事費、等
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	1,023:ユートピアセンター施設使用料

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
	1.委託料	千円	5,487	5,420	5,305	5,190	5,606
財源	2.光熱水費	千円	4,685	4,603	3,164	2,987	3,360
	3.臨時雇賃金	千円	1,927	2,045	2,030	2,109	2,554
	4.その他	千円	4,128	5,058	10,516	4,538	7,287
	事業費計(A)	千円	16,227	17,126	21,015	14,824	18,807
	1.国庫支出金	千円					
2.都道府県支出金	千円						
3.地方債	千円					3,900	
4.その他	千円	1,429	1,075	1,500	1,023	980	
5.一般財源	千円	14,798	16,051	19,515	13,801	13,927	

前年度増減理由	受水槽更新工事、修繕の減のため
---------	-----------------

従事職員数 常時 3人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

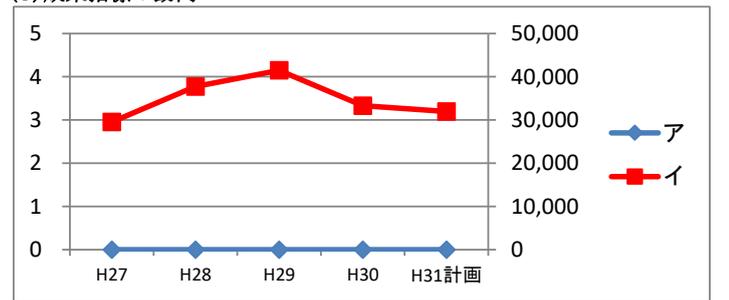
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 修繕回数	回	9	7	13	10	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 貸館件数	件	1,096	1,169	1,175	1,134	1,150
	対象意図 ・市民 ・利用者が安全、快適に施設を利用できる。	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象意図		ア 維持管理に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0
		イ 延べ利用者数(貸館・図書館利用者延べ人数)	人	29,521	37,728	41,482	33,283	32,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通	①	③	⑤
	小さい	②	④	⑥
		⑦	⑧	⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	数値増=成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由) 市関係の利用と登録団体の利用が減少したため。			<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	成果動向 ア 0 イ △3,995
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性		
(31年度に取り組む主な事項について記載)	通年	施設の維持・管理		<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	通年 施設の長寿命化を図れるよう計画的に施設の維持管理を行う。	